

※板書例を参考にきれいなノートを作りましょう！
 ※で書かれている指示は板書しなくていいです。

(板書例)

教科書 p.96～99

歴史的仮名遣いに注意して教科書 p.96～p.99 「春はあけぼの」 「冬はつとめて」を音読してみよう！

p.99 「秋」・「冬」の原文と現代語訳を赤枠の中の指示に従ってノートに写そう

「枕草子」

清少納言

(原文)	(現代語訳)
秋は夕暮れ。夕日のさして山の端いと近うなりたる	秋は夕暮れ。夕日がさして山の端にとても近くなっている頃に、
に、からすの寝(ね)所(どころ)へ行くとして、三つ四つ、二つ三つ	鳥がねぐらへ帰るといので、三、四羽、二、三羽
冬はつとめて。雪の降りたるは言ふべきにもあらず。	冬は早朝。雪が降り積もっているのはいうまでもなく、
き灰がちになりてわろし。	灰ばかりになって趣がうせる。

・前回の内容(春・夏)のノート見開き一ページをそばして次の見開き一ページの上半ページから前回と同じようにノートをとる！

・ノートを見開きの状態にして片面一ページの真ん中に線を引くこと！

・行間は最低二行空けておいてください！

・p.99の原文と現代語訳を全て写すこと！

・歴史的仮名遣いは現代仮名遣いに直して単語の隣に記入すること！(教科書に載っている)